



Moon Village Association
Outreach Event in Tottori



世界中の研究者と交流する **特別な1日**

Special Symposium



Visit The Sand Museum



Outreach-Events with Dinner



星取県で**月**の未来を語ろう。



**Luna Demonstration field
Luna Terrace**



Visit Tottori Sand Dunes



Simulated Astronaut Activity

Speakers



INAMI Space Laboratory CEO
Noriaki Inami
 宇宙旅行者が考える、星取県が
 目指す宇宙ビジネスの可能性



コスモ女子 副代表
Ai Tonomoto
 女性が活躍できる月社会



WARPSPACE CEO
Hirokazu Mori
 「光」が変える
 宇宙の通信ネットワーク



鹿島建設イノベーション推
 進室 宇宙担当
Takuya Ono
 宇宙に広げよう、地球人の輪



宇宙タレント
Arisa Kurada
 兵庫県出身。中学時代のNASA訪問で宇宙の虜に。
 お茶の水女子大学理学部物理学科卒業。国の審議
 会委員からYoutuberまで幅広い顔を持ち、宇宙の
 魅力を届ける。



京都大学大学院総合生存学館
 SIC有人宇宙学研究センター
Yosuke A. Yamashiki
 コアパイオームとテラウインドウ



JAXA/IASS Assoc. Prof.
Masashi Miura
 鳥取と宇宙とシステムデザイン



amulapo CEO
Katuaki Tanaka
 AIの力で鳥取砂丘が月面に

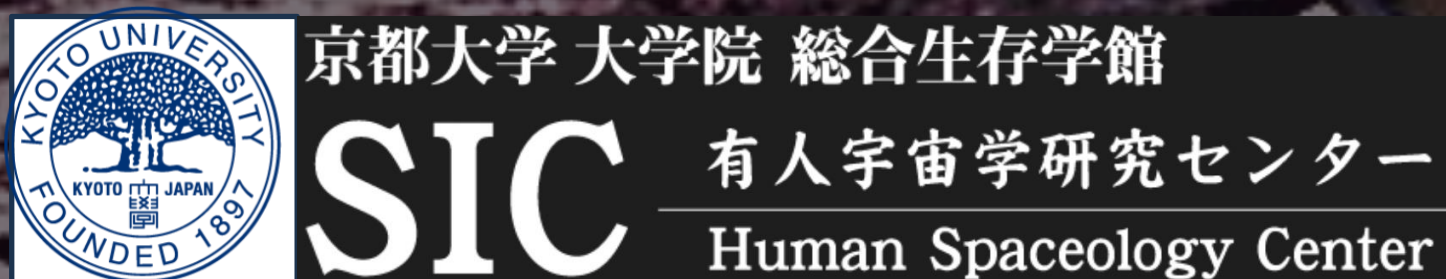


鳥取県庁 産業未来創造課
Hiroyuki Ida
 鳥取県は「星取県」

Special Guest

12/10(日)
16:30~18:30

参加費:無料(食事付き)
 会場:鳥取砂丘
 砂丘センター



16:30~18:30 研究者との交流会トークイベント **豪華な登壇者**

Takuya Ono
大野琢也

**宇宙に広げよう、地球人の輪
(回る人工重力施設研究)**



1991年神戸大学工学部建築学科卒業。1993年神戸大学大学院工学研究科建築学専攻修士。1993年鹿島建設入社、設計・エンジニアリング総事業本部、1997年より関西支店建築設計部、2023年よりイノベーション推進室 宇宙担当。2020年より京都大学大学院総合生存学館非常勤講師、2021年より京都大学大学院 総合生存学館 SIC 有人宇宙学研究センター。書籍、雑誌、講演などで独自の人工重力施設の建築的手法を世に問いかけている。

Noriaki Inami
稲波紀明

**宇宙旅行者が考える、星取県が
目指す宇宙ビジネスの可能性**



1977年愛知県生まれ。早稲田大学ファイナンス研究科、名古屋大学理学研究科素粒子宇宙物理学専攻卒業。日本IBMにシステムエンジニアとして入社。2005年ヴァージンギャラクティック社が募集する世界最初の宇宙旅行者100人に選抜。2022年INAMI Space Laboratory株式会社設立。同年「よくわかる宇宙ビジネス 日本初サラリーマン宇宙旅行者からの提言」を出版。リチャード・ブランソンの家に招待、6G重力訓練、無重力訓練など様々な経験を経て、2024年宇宙旅行開始予定。

Hirokazu Mori
森 裕和

「光」が変える宇宙の通信ネットワーク



宇宙ビジネスコンサルタント。株式会社ワークスペースCSO兼米国支社CEO。一般社団法人SPACETIDE CXOアドバイザー。大分県宇宙事業技術顧問。英宇宙スタートアップBlue Abyss 共同創業者兼VP of Business Development, APAC。英エジンバラ大学理論宇宙物理学部飛び級入学・首席卒業。ケンブリッジ大学で理論宇宙論の研究を行う。若手プロダイバーとして欧州・地中海エリアで受賞。バックパッカーとして現在までに100ヶ国弱訪問。世界の主要宇宙ビジネスカンファレンス登壇。趣味は沈船・海中洞窟ダイビング、飛行機操縦、ピアノ演奏、美術、宇宙物理等。死ぬまでに月面到達を目指す。

Ai Tonomoto
塔本 愛

女性が活躍できる月社会



宇宙業界で活躍したい女性のためのコミュニティ「コスモ女子」副代表。建築専攻。大学時代にバルーンサットプロジェクトに携わる。建築の設計の仕事しながら、コスモ女子として活動中。2024年の人工衛星打ち上げに向けプロジェクトマネジメントを行っている。趣味は美術鑑賞、温泉、登山、考古学、宇宙ビジネス等。

Yosuke Yamashiki
山敷庸亮

**宇宙移住のための三つのコアコンセプト
コアバイオームとテラウインドウ**



京都大学工学部卒業。サンパウロ大学修士課程修了。京都大学博士。日本大学、東京大学での講師、京都大学防災研究所准教授などを経て現職。2011年原発事故による河川海洋放射線環境調査に加わる。2016年に太陽系外惑星の複数のハビタブル・ゾーンと恒星高エネルギー粒子による放射線環境を比較可能な太陽系外惑星データベースExoKyotoを開発、公開。2019年よりアリゾナ大学人工隔離生態系Biosphere2を用いたスペースキャンプ(SCB2)を企画、実践。2023年に「有人宇宙学-宇宙移住のための三つのコアコンセプト」出版。「テラフォーミング」に代わる「テラウインドウ」を提唱。

Katsuaki Tanaka
田中克明

ARの力で鳥取砂丘が月面に



ロボットの専門家。早稲田大学にて博士(工学)を取得。2020年3月に(株)amulapoを創業し、代表取締役としてXR、ロボット、AI等のICT技術を用いた宇宙コンテンツの開発に従事。宇宙をはじめとした科学技術の発展に向けて、科学技術の発信、社会実装や人材育成のための仕組みづくりに取り組む。早稲田大学招聘研究員、元space Robotics Engineer、元日本学術振興会特別研究員。

Miura Masashi
三浦政司

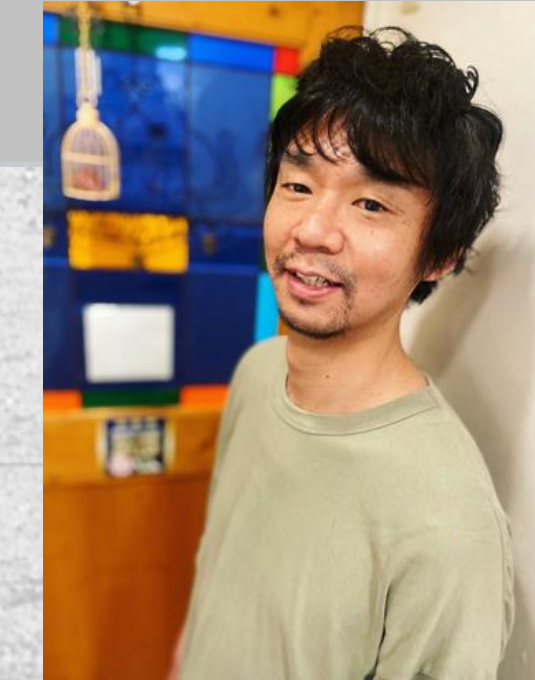
鳥取と宇宙とシステムデザイン



東京大学工学部を卒業後、学籍を総合研究大学院大学に移し、JAXA宇宙科学研究所にてロケット工学の研究に従事。鳥取大学工学部助教着任のために鳥取の地を踏み、以後10年間を鳥取で過ごす。鳥取大学ではシステム工学の研究に従事する傍ら、実践型の工学教育に取り組み、のべ60件以上のシステム開発や製品開発のプロジェクトを指導。2021年よりJAXA宇宙科学研究所の准教授に着任し、先進的なロケットシステムの研究開発に取り組む。2016年に株式会社レヴィ、2023年に株式会社ロケットリンクテクノロジーを創業し、アカデミア発の起業家としても活動している。

Ida Hiroyuki
井田広之

鳥取県は「星取県」



鳥取県の星空と宇宙をテーマにした地域活性化構想を提唱し、地域内外に共感者を増やしながら県公式プロジェクト「星取県」を実現。民間月面探査チームとのコラボレーションなどを手掛ける。「グローバルビジネス誌『Forbes JAPAN』が選んだスーパー公務員12人のひとり」

**参加者
豪華特典**

先着 100名様

※ご参加者には簡単なアンケートの回答をお願いしています。



研究者との交流会 トークイベント
食事無料提供※



鳥取砂丘 砂の美術館 プロジェクションマッピング
無料ご招待※

イベントの詳細やお申込みはこちら



お問合せ先：株式会社amulapo
contact@amulapo-inc.com